

第4回白浜地域づくりを考える会概要

開催日	平成21年11月30日	開催場所	南房総市白浜支所 2階会議室		
参加人数	人	開催回数	4	開催時間	午後1時30分 ~ 午後4時00分
参加者	山口市民協働推進室長、座間、結縄、平嶋 豊崎白浜支所長、吉田課長 考える会メンバー 22人 (別紙)、支援員 篠崎、片桐				

1. 開催内容

1. 開 会 (山口室長)
2. あいさつ (行政連絡員会長 平野好生)
3. 活動グループの報告
 - ①トンネル歩こう会
 - ②白浜花の会
 - ③城山登山道+ガイド養成
 - ④農業体験ツアー
4. これまでのふりかえりと今後のスケジュール等について
5. 準備委員会設立協議
 - ①組織体制について
 - ②事務局について
 - ③規約 (会則) について
 - ④委員長の選出について
 - ⑤予算について
 - ⑥今後の進め方について
6. その他
7. 閉 会



2. 要旨

【3. 活動グループ報告】(詳細については、別紙報告書のとおり)

①トンネル歩こう会 (発表者 佐藤)

- ・10月28日から活動開始
- ・広域農道ウォーキングからトンネル歩こう会へ名称変更
- ・連絡網の整備を行った。
- ・11月15日に小学生も参加し、デモウォーキングを実施
できるだけ早くトンネルを歩けたことがよかった。
- ・2月13日の開通式に併せて、ウォーキングを中心としたイベントを開催することを決定 (課題等)
- ・子供たちの安全対策
- ・イベント参加者の募集方法 (回覧・ホームページ)

- ・ウォーキング以外で子供たちが楽しめるイベントの実施
- ・会議回数がもっと増やせればよい。

(質疑等)

- ・白浜地区以外でも参加したい方が多いのでは。PRの方法は。

→スタートは、白浜住民を中心とした歩こう会から検討を始めた。花のシーズンである2月ごろの開催を検討したが、市の開通式と一緒にできないかという話もあり、2月13日に開催を決定した。また、子供たちも楽しめるイベントが開催できればと検討を進めているところなので、参加者の募集方法等も今後併せて検討していく。

- ・ルート設定はどうなっているのか

→往復トンネルではなく、行きは、トンネルを通り、帰りは、旧道を通る約4キロのコースを考えている。

- ・新しくできた橋（館山市）から下を見た眺めがよいので、コースを延ばしてみてもどうか。

②白浜花の会（発表者 落合）

- ・第1回打合せ10月20日
- ・打合せの前にプランターの位置は調査済みだったのでスムーズに活動に入れた。（総数418個）
- ・現在まで約100個を整備した。
- ・毎週月曜日、9時～11時を目安に活動することを決定。集合場所は支所。
- ・活動するためのごみ袋は、支所で準備。
- ・活動を始めると、プランターだけでなく、その後ろにある生垣の処理、出るゴミ処理の課題等が出てきた。最終的には、白浜清掃センターへ持ち込むことができるようになった。
- ・プランターだけでなく、道路沿いの花壇も荒れ放題になっている。

(課題等)

- ・プランター以外の花壇等の処理。県部分、市部分の管理の問題。
- ・協力できる人を増やしていかなければならない。

(質疑等)

- ・プランターの後ろに生垣がある場合は、そこもきれいにしなければ花が目立たない。

→生垣もきれいにしている。プランターだけではなく、周辺もできる部分はきれいにしている。

③城山登山道+ガイド養成（発表者 山口）

- ・読み方は、「しろやま」ではなく「じょうやま」で統一していきたい。
登山道では、重すぎるので名前を考えたい。
- ・ベンチ10基を地元の滝口材木から協力をいただいて設置した。
- ・11月9日に実施したJRとタイアップした「城山さわやかウォーク」は参加者が少なく、近隣からの参加者募り15名で開催した。（3時間、8キロのコース）
- ・下立松原神社では、宮司さんにガイドをお願いした。
- ・毎年、9月に目黒小学校が城山でハイキングを実施している。
- ・11月29日には、富浦エコミューゼ研究会が土曜学校でハイキングを行った。

(課題等)

- ・グループのネーミング。
- ・JRとのタイアップでの参加者を増やす。
- ・地域の観光との連携。

(質疑等)

- ・なし

④農業体験ツアー（発表者 高木）

- ・ツアーの募集は、市のホームページ、房日、千葉日報、朝日千葉版、千葉自然学校のダイレクター等を活用。
- ・初回の参加者は16名でその中から今回の考える会に2名参加。
- ・現在まで、5回開催。農業体験だけでなく、城山ハイク、金盞花ケーキ、先輩移住者の体験談等も行った。

(課題等)

- ・次回12月12日に実施。そのときには、考える会に参加している柳さんの海洋美術館を見学したい。
- ・2月13日にトンネル歩こう会が実施するイベントに10名程度参加をしたい。
- ・個人的に小学校の体験学習を実施しているので、白浜花の会と連携をして結びつけていきたい。

(質疑等)

- ・なし

【4. これまでのふりかえりと今後のスケジュール等について】

市民協働推進室 座間主査説明

南房総市協働のまちづくり活動補償制度について追加説明

【5. 準備委員会設立協議】

市民協働推進室 座間主査説明

今日のゴールとしては、準備会を設立するまで

①組織体制

- ・和田の状況を参考に説明。
- ・資料を基に3通りのパターンを説明。
パターン③の会員全員で検討という意見もあったが、最終的にパターン①の各グループの代表者+希望者で準備会を立ち上げていくことで決定。考える会の約半数の14名となった。
準備会立ち上げの会議の通知については、だれでも参加できるという観点から、考える会の参加者全員に通知する。
- ・事務的なサポートはどうなるのかという意見があったが、今までのやり方とは違いみなさんで1から作り上げていくことが重要であることを説明。支援員のサポートもあることを説明。

※ 準備委員会の班代表

トンネル歩こう会・・・・・・嶋田

白浜花の会・・・・・・・・・・落合
城山登山道・・・・・・・・・・山口（惣）
農業体験・・・・・・・・・・井田
希望者枠・・・・・・・・柳、田所、鳥海、小谷、中村、鈴木（重）、大久保
中村（将）、中村（園）、栗原

②事務局について

・支援員の二人に行ってもらうことで決定。

③規約について

・たたき台を基に内容説明。たたき台の規約を変更せずに決定。

④委員長選出について

・推薦により、栗原猛さんに決定。

⑤予算について

・たたき台を基に各グループで検討。

・封筒印刷は、旧白浜町の封筒を使用することから、会議消耗品費へ回す。

・総額は、補助金枠の35万円で決定。

⑥今後の進め方について

・たたき台を基に説明。先進地視察については、期間もないことから削除する。

・地域づくり協議会設立にむけての今後の流れを説明。

準備会は補助金、協議会は交付金となり自由に使えるが、説明責任も発生することを理解してもらった。

【5. その他】

・本日から参加した、中村夫妻、吉田さんについて紹介。

・支援員より会議室が必要であれば支援員が予約する旨説明。

・今回のグループ発表資料は、支援員が作成したが、今後は案を各グループで検討し、形にすることについては、支援員がサポートする。

・栗原委員長より準備委員会の開催について提案があり、

12月7日（月）午後6時半から支所で行うことを決定。